

北海道気候変動観測ネットワーク（HSCC）設立趣意書

設立の目的

北海道洞爺湖サミットが開催されたことを契機として、本道における温暖化対策をさらに進めるため、北限のブナ林や流氷など気候変動観測に有効な指標が多い本道の特性を活かし、道内の大学・研究機関等の連携強化を図ることにより、

- ・効果的なモニタリングの実施や情報の共有、観測結果等利用に関する利便性の向上等による温暖化影響の早期把握に貢献すること
- ・道民や農林水産事業者等への包括的な情報提供を行うこと

を目的に、北海道気候変動観測ネットワーク [Hokkaido Survey network for Climate Change (以下、HSCCといたします。)] を設立し、道民の皆さんなどへの情報提供や研究者間の気候変動に関する情報の共有化を図る第一歩を踏み出したいと考えております。

つきましては、HSCCの趣旨にご理解を賜り、本ネットワークにご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

HSCCの機能等

(1) 道内における気候変動に関する観測データ等の情報の収集・発信

ネットワーク参加機関の観測データ等の情報を利用しやすいように分類・整理し、情報の共有化を推進するとともに、観測データ等のGIS化やデータベースの整備などについても検討を進め、情報を発信できるようなシステムの構築を目指します。

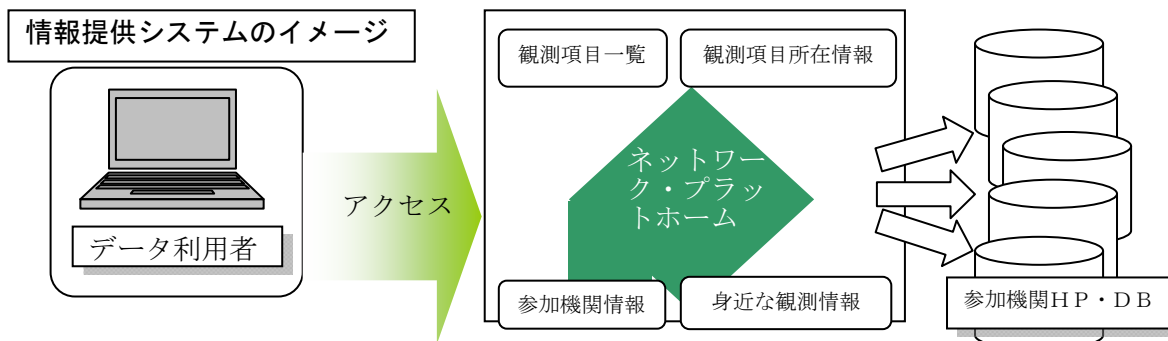
(2) 気候変動に関する情報交換の促進（データ相互利用・提供に向けた検討）

観測データ等の提供にあたっては、調査研究の促進と道民や産業界の温暖化対策に関する意識の向上や適応策の検討に資するように配慮し、観測結果概要報告レポートの作成等についても検討を進めます。

なお、収集された観測データ等については、研究成果の保全を図るため、公開情報を除き一定の利用条件を定めます。

(3) 身近な観測データとの連携

道民等の参加による身近な観測データとの連携についても検討を進めます。



(4) 研究成果の発表の場の提供

参加機関の研究成果の発表や交流を図るため、年1回程度、フォーラムなどを開催します。

HSCCの運営等

HSCC設立後は、事務局は、財団法人北海道環境財団に置きます。
また、設立後の運営体制については、次のような内容を想定しています。

- ① 財団法人北海道環境財団
 - ・ HSCC事務局としての諸調整
 - ・ 研究成果の発表や交流を図るためのフォーラムなどの開催に係る諸調整
 - ・ 民間企業等への支援等の要請
- ② 地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部
 - ・ 情報提供HP(HSCCのHP)の運営主体(システム管理)
 - ・ 参加機関の提供情報内容の確認
 - ・ 北海道における気候変動の影響への適応策等の共同研究に係る諸調整
- ③ 北海道
 - ・ 事務局のバックアップ
 - ・ HSCC参加機関の拡大や調査研究の収集に係る諸調整

HSCC設立に向けたスケジュール

設立に向けた具体的なスケジュールは次のとおりとしています。

平成23年2月 HSCC設立総会及び設立記念フォーラムの開催

平成23年1月13日

北海道気候変動観測ネットワーク設立呼びかけ団体

財団法人北海道環境財団

地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部

北海道

(連絡先)

北海道環境生活部環境局環境推進課 環境管理グループ
電話 011-204-5187 FAX 011-232-4970
011-231-4111 内線 24-212